

# 授 業 概 要

(こども保育科)

授業のタイトル (科目名) 障がい福祉		授業の種類 ( 講義 ・ 演習 ・ 実習 )		授業担当者 星野 和幸	当該科目に関する実務経験
授業の回数 15回	時間数 (単位数) 30時間 (2単位)	配当学年・時期 2年・後期		必修・選択 必修	
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>障がい福祉に関する法制度やサービスなどについて理解を深める。</li> <li>障がいのある子どもに対するアセスメントや支援についての理解を深める。</li> </ul> <p>[授業全体の内容の概要]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>障がいの理念や法律について解説する。</li> <li>各障がいについて理解するとともに、障がいのある子どもの支援について学ぶ。</li> </ul> <p>[授業終了時の達成課題 (到達目標)]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>障がい福祉に関する法制度やサービスについて理解し、現状とその課題について考えることができる。</li> <li>障がいや障がいのある子どもについて理解を深め、生活実態を把握することができる。</li> <li>障がいのある子どもに対する支援について理解し、その実践について自身の考えを持つことができる。</li> </ul>					
<p>[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>“障がい”の捉え方</li> <li>障がい福祉の法制度とサービス</li> <li>障がい児保育の仕組み</li> <li>生活の中で障がい児をどう理解するか</li> <li>保育の中で障がい児とどう関わるか</li> <li>身体障がい児・者の心理的特性と理解</li> <li>知的障がい児・者の心理的特性と理解</li> <li>発達障がいとは</li> <li>ASD (自閉症スペクトラム) の理解と支援</li> <li>ADHD (注意欠如多動性障がい) の理解と支援</li> <li>LD (学習障がい) の理解と支援</li> <li>アセスメントから子どもの実態を学ぶ</li> <li>小学校との連携</li> <li>障がい者の社会参加への援助</li> <li>期末試験</li> </ol>					
<p>[使用テキスト・参考文献]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>障害児保育 子どもとともに成長する保育者を目指して&lt;第3版&gt; (藤永保 監修/萌文書林)</li> </ul> <p>適宜プリントを配布</p>					

[成績評価の方法と基準]

教科出席率が80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。

- 考查点(75%)
  - 到達目標の修得状況を測るために、筆記試験により期末考查を実施する。
- 平常点(25%)
  - 授業時に提示された課題を期限までに提出し、その内容が課題に沿ったものである。
  - 授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。